

## 第24回子ども・子育て分科会における意見について(追加資料)

### 1. 次期プランの具体的事業に対する意見

事業番号	意見内容
事業名	意見に対する所見
【23ページ】子どもの貧困	横須賀市の指標として12.5%と表記されていて国の指標とも少し離れている。これはサンプルが少ないからということもあるが、12.5%を市としてどのように捉えるかについては過去5年ほどのデータを使いながら、判断していくべきではないかと思うので、検討を要すると思う。
児童養護施設入所児童の 高校卒業時における進学率 について	進学率に関するご意見について、過去5年間のデータを調査しました。その結果については、席上配布資料1のとおりでございますが、前回の分科会でお示しした平成30年度分について誤りがあり、正しくは25.0%となります。(前回の資料では12.5%) 具体的な割合の内訳を今回同資料に記載していますが、分母である児童養護施設における高等学校卒業生数が少ないことから、年度間で数値が大きく増減する結果となりました。 子どもの貧困対策では、教育の機会均等の保障や貧困の連鎖を断ち切る基本的な方向性が示されていることから、今後子どもの進学率にも注視していく必要があります。 しかしながら、本市の数値が年度で大きく増減するため、あくまで一つの指標として注視しながら、児童の将来を見据えた中で、児童一人一人に寄り添った支援を図り、貧困の連鎖が継続されないようにしていきたいと考えています。

### 2. 全体を通しての意見

項目	意見内容
	意見に対する所見
現行プランの総括について	現行プランについて達成されたものと、達成されなかった事業があり、その理由について審議会委員の中で共通認識を持っておく必要があるのではないか。(特に保育関係)  現行プランの特定事業において、確保方策(利用定員等)が計画どおり達成している事業と、そうでなかった事業があり、特に幼児期の学校教育・保育のうち保育利用の確保方策が計画どおり進んでいない状況にあります。(席上配付資料2参照) 次期プランでは、現状を踏まえ、今年度新たに事業者に対し意向調査を実施し、その結果を基に既存施設の定員拡充を進めるとともに、特に待機児童が多い地域においては、小規模保育事業所や分園を新たに設置します。また、次期プランにおいて、新たに企業主導型保育事業や一時預かり(幼稚園Ⅱ型)等を確保方策として活用し待機児童の解消を図ってまいります。

## 2. 全体を通しての意見

項目	意見内容
	意見に対する所見
【46ページ】 視点4 多様な子育てニーズに対応する視点	46ページの下から3行目の表記について言い回しを修正した方が良い。
	調整中
各事業の実施について	こども育成部内のみならず、教育委員会や市民部等関係部署との情報共有や連携をきちんととるようお願いしたい。
	各事業を実施していくうえで、関係機関との情報共有や連携は必要不可欠であるので、教育委員会や市民部等関係部署との連携を取りながら進めていきます。
現行プランの総括について	現行プランについて達成されたものとされなかった事業があり、その理由について審議会委員の中で共通認識を持つておく必要があるので事務局としての考えを聞きたい。
	調整中
過去に策定した計画の振り返りについて	今までのプランの経過を元に次期プランの策定をしているということもあり、現プランの39ページに記載されているようなものを掲載してはどうか
	資料4の45ページに「これまでの計画の状況」というタイトルで過去に策定した計画の進捗状況についてまとめた表を追加しました。
冊子の見易さの改善意見①	章ごとに見出しページの挿入をした方が見やすいと思う。
	現在の資料では中扉を挿入していませんが、計画策定後の完成品（印刷物）では色付きの中扉を挿入する予定です。
冊子の見易さの改善意見②	目次の次ページに全体像がわかる図にてプランの構成の表記をしたらどうか。
	目次と似た内容の表記となるため、あえて図解として記載することは考えていません。
冊子の見易さの改善意見③	子育て拠点（愛らんど）やコミュニティセンターのMAPの追加
	子ども・子育て支援法に基づく特定事業について提供区域ごとのサービスの地図を98～99ページに追加しました。